



主催 千種区役所 千種区安心・安全で快適なまちづくり協議会

## 【俳句部門】

最優秀賞

かぶそく  
過不足の なき二人居や ほんつき

小野 薫

～審査員講評～

言葉にならないほど羨ましさを感じました。  
老齢のご夫婦が大した病気もせず、大きな心配事もなく、これ以上の幸せも求めず、のんびり日々を過ごして、これまでの人生を懐かしんでいる暮らしが思い浮かびました。読む者がほっとした温かみを感じる良い句です。  
季語も妥当。

優秀賞

ろうびょう  
老猫の ほのかな寝息 ねいき はる よい

山田 由美子

優秀賞

なつふか  
夏深し めざ いぬ せの  
目覚めた犬が 背伸びする

田中 清彦

優秀賞

たきだ  
炊出しの とんじるすず ふゆ のと  
豚汁啜る 冬の能登

坂本 雅則

佳 作

ふるほん  
古本を ひら はるにほ  
開けばふわり 春匂ふ

千葉 乙羽

佳 作

すず  
ねこ涼む くるま した  
車 の下から の 伸びる足

ふっちょ

佳 作

まごひまご  
孫曾孫 やしやご な  
玄孫の名まえ なまみこん

稻熊 明美

佳 作

あおくさ  
青臭き これぞトマトよ かぶりつく

岩田 勇

佳 作

せみ こえ  
蝉の声 き 聞いてベンチを ひとじ  
ひとり占め

仮根

## 【川柳部門】

---

最優秀賞 ひ 陽のあたる まどべ せき 窓辺の席と ぶんこほん 文庫本 ざえもん

～審査員講評～

秋の日差しを浴びながら文庫本をひもとく女性の姿が見えます。健康で生活も安定し、趣味は読書と言える幸せ。向学心・好奇心に満ち視線はしっかりと明日を向いています。

---

優秀賞 せんまん 千万の えがお ま 笑顔待ってる あお そら 青い空 松浦 美津江

---

優秀賞 しんまい 新米が くち 口いっぱい ああ へいわ 平和 木股 昭

---

優秀賞 ほしなが 星眺め お 推しの曲聞き きょくき いや 癒される りの

---

佳 作 こうよう 紅葉を ひとり じ 一人占めして じゆてん ぶろ 露天風呂 四方田 米子

---

佳 作 たっぷりと かいご かえ 介護で返す う 受けた恩 おん 木村 行吉

---

佳 作 へいわ ねが 平和を願う すいへいせん 水平線が うつく 美しい 鶯尾 丈夫

---

佳 作 ハグされて こころ まど 心 の窓を と はな 解き放す 位田 仁美

---

佳 作 いちにち 一日の つか い 疲れを癒やす はは あじ 母の味 本多 花帆

## 【子ども部門】

最優秀賞 こうよう ひやま そぼ いえ  
紅葉が 山いちめんの 祖母の家

西村 恋典

～審査員講評～

とかい はな しぜん ゆた ふるさと  
都会を離れ、自然豊かな故郷ですね。

おも しんこきゅう いっしょこうこころ かて  
思いっきり深呼吸をしたいような、一生 心 の糧になる

いや しあわ かん ゆうだい ふうけい かん  
癒しと幸せを感じる雄大な風景を感じます。

かんきょう ふるさと も りょうしん やさ  
こんな環境、故郷をお持ちのご両親は、いつも優しく、

とき きび あなた きみ みまも くだ  
時には厳しく貴女（君）を見守って下さるのでしょうね。

すてき く  
素敵な句です。

優秀賞 ざあざあと なみのおときき ねむくなる

阿部 希子

優秀賞 かまきりが おにわにたまご うんだあき

徳留 隼也

優秀賞 ふう おと き  
風りんの 音を聞いてる ゆらゆらと

清水 月捺

優秀賞 もり おと みみ  
森の音 耳をすませば 歌ってる

山田 留琉乃

優秀賞 す さんきょうだい  
ツバメの巣 だんごのようない 三兄弟

じゃがバター

優秀賞 はる かせ こころ おく  
春の風 心の奥も なでてゆく

れん

---

佳 作 おかあさん いっしょにねると あつたかい いちじく

---

佳 作 ろてんぶろ おはなしあいての おつきさま 菊池 彩央

---

佳 作 <sup>いもうと</sup>妹 <sup>かわい</sup>が とても可愛い <sup>て</sup>手をつなご 牧山 琴美

---

佳 作 なつがきた げんきになくよ せみのこえ 嵐 友彩

---

佳 作 <sup>かあ</sup>お母さん だきしめられる えがおでね 石黒 市佳

---

佳 作 あつたかい ゆぶねにつかり ねむくなる 石畠 結菜

---

佳 作 <sup>むし</sup>虫の声 <sup>よる</sup>夜のステキな えんそうだ 柴田 真佑

---

佳 作 がんばれる まほうのことば だいじょうぶ こののん

---

佳 作 ほほよせて ぬくもり求め <sup>もと</sup>馬のくび ナンケーキ

---

佳 作 <sup>しづ</sup>沈み行く <sup>ゆ</sup>重いまぶたで <sup>おも</sup>雲の海 松村 翠涼

---

佳 作 おはようと <sup>こえ</sup>声がそろって <sup>わら</sup>笑い合う 東 結菜

---

佳 作 <sup>こも</sup>木漏れ日は <sup>び</sup>微睡への <sup>まどろみ</sup>片道券 <sup>かたみちけん</sup> 柴田 明日香

---



第十一回千種区俳句・川柳コンクール  
～「癒し（※心と体がほっとすること）」をテーマに、自由に詠んでみよう～

選者

俳句部門	宮井 寛	先生（ともしび俳句部門編集、白珠句会事務長、北の風花代表）
川柳部門	荒川 八洲雄	先生（中日川柳会会长）
子ども部門	宮井 寛	先生（ともしび俳句部門編集、白珠句会事務長、北の風花代表）

応募総数

俳句部門	109句
川柳部門	186句
子ども部門	1301句

